

平成 30 年度重点施策の達成状況評価

1 基本施策 1：市民活動の裾野の拡大

1-1. 市民活動のきっかけづくり

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市民活動のきっかけづくりとして、様々な世代向けに、多くの事業が行われている。

参考指標の内、男女平等推進センター事業やフェイスブックいいね！数が増加傾向である一方、イベント来場者が前年比減少している事業もある。その理由の一つとして、イベントへ参加する（出展する）団体が減少したと分析された事業もある。事業の対象者へ効果的に告知することは当然だが、きっかけづくりに協力いただいている団体等への参加しやすい、協力しやすい工夫も検討していかなければならない。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

2 基本施策 2：市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実

2-4. 市民活動に関する学びの機会の提供

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

活動継続のための学びや、コミュニケーション・ファシリテーション能力向上等、様々な世代向けに、多くの事業が行われている。武蔵野プレイス事業満足度で高評価が得られており、市民のニーズを捉えていると思われる。

近隣自治体や市民団体が行っている事業・講座等も踏まえて幅広い事業が実施できるよう、情報集約と発信の手法について研究する。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

2-6. コーディネート機能の強化

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

コーディネート機能を求められる機関として、コミュニティ協議会が、本計画では具体的に例示をされている。市は財政支援等を行っているが、コミセン祭り等、様々な団体・企業が集まり、イベントを通じて交流ができていると思われる。コーディネート力向上等を目的とした「コミュニティ未来塾」等の事業も行っており、その修了生がコミュニティ協議会に入り、さらなる機能強化となることも期待できる。

また、相談受付や市民活動団体の情報発信も行われている。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見